JPT-700W

AVOX®

ポータブルDVDプレーヤー
取扱説明書

ご使用前に本説明書をご一読ください

■ C-MEX セントレードM.E.株式会社
〒110-0016　東京都台東区台東1丁目24番9号

【カスタマーサポートセンター】
受付時間 9:30～12:30,13:30～17:30（土・日・祝日・弊社休日を除く）
TEL：(03) 3834-3631　FAX：(03) 5688-1578
http://www.c-mex.co.jp/

安全に関するご注意

はじめにお読みください

1. デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。これには製品本体の仕様およびソフトウェア、ソフトウェアドライバ、ユーザーマニュアルが含まれます。このユーザーマニュアルには本製品についての概要が記載されています。
2. 本ユーザーマニュアルに誤りや矛盾があった場合について、製造者は何ら責任を負いません。
3. 本マニュアルに記載のイラストは機能などの説明を目的としていますので、実際の製品とは異なる場合があります。
4. 本製品は、ご家庭での使用を目的として製造されております。それ以外での使用は、保証の対象外となります。

事前注意

プレーヤーをご利用になる前に、ここに記述した注意内容をご確認ください。

電源コードの保護

本体が故障しないように、また感電、火災、人体への影響を防ぐために以下のことに注意してください。
・AC電源コードを接続したり、はずしたりするときはプラグをしっかり持って行なってください。
・AC電源コードは熱器具のそばに置かないでください。
・AC電源コードの上に重いものを置かないでください。
・AC電源コードを修理したり、改造したりしないでください。

保管

以下のような場所には保管しないでください。
・直射日光の当る場所、放熱器のそば、または密閉された自動車
・35℃以上の高温または90%以上の高湿な場所
・内部部品に致命的なダメージを与えるようなほこりの多い場所

安全に関するご注意

使用しない時

・本体の電源をOFFにします。長時間使用しない場合は、家庭のACコンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

指や異物を入れないでください

・危険ですので本体の内部部品には触れないでください。内部部品に触ると致命的な損傷を与える可能性があります。また、本体を分解しないでください。
・ディスクトレイにディスク以外のもの置かないでください。

水や磁石のそばに置かないでください

・花瓶、浴槽、流し台などのそばで使用しないでください。液体を本体の中にこぼすと、致命的な損傷を与えます。
・本体のそばに磁石や磁化したものを置かないでください。

設置場所

・本体を水平な場所に置いてください。また、本体の上に重いものを置かないでください。

ご注意いただく事項

以下のような条件では、レンズが曇る可能性があります。
・ヒーターの電源をONにしたすぐ後
・湯気の立ち込める部屋または湿度の高い部屋
・本体が寒い環境から暖かい環境に突然移されたとき
本体内部に湿気が発生すると適切に動作しなくなる可能性があります。その場合、電源をオフにして湿気が乾くまで１時間ぐらいそのままにしておいてください。

テレビ画像に雑音障害が発生している場合

・テレビの受信状態によりますが、テレビ番組を観ているときや本体の電源をつけたままにしているとテレビ画像が乱れることがあります。

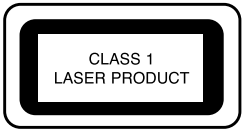
製品をひざの上など肌に直接触れる様な場所でご使用の場合

・低温やけどの恐れがございますので、直接肌に触れない様ご注意下さい。

安全に関するご注意

この三角形に光る矢印の表示は、本製品が「危険な電圧」にまで達し、感電の危険が想定されることを示しています。

この三角形に感嘆詞の表示は本体の重要な操作とメンテナンス（修理）の指示があることを示しています。



この製品はFCCルールの第15部に準じています。操作は次の二つを条件としています。

(1) この製品は障害が発生しないと想定される
(2) この製品は受信障害が発生する可能性がある。それによって好ましくない操作が発生する場合も含まれる。

警告：火事や感電の危険が高いため、雨または湿気に本体をさらさないでください。また、キャビネットの内部は危険な高電圧がありますので、サービス員以外の方は絶対に開けないでください。

注意：再生中、ディスクは高速で回転しているため、絶対に本体を持ち上げたり、動かしたりしないでください。ディスクに損傷を与える可能性があります。

注意：このDVDプレーヤーはレーザーシステムを採用しています。プレーヤーのふたを開ける前にシャットダウンされているか確認してください。開いていたり、インターロックが破損している場合、レーザー光が見えます。ここに書かれている以外の方法でコントロールや付属品を使ったり、処置を行うと危険な放射線が漏れる可能性があります。

安全に関するご注意

バッテリーに関する警告：

このDVDプレーヤーはLiポリマーバッテリーを採用しています。バッテリーの取り扱いを誤ると火災や火傷の危険があります。絶対に分解、粉砕、破裂、充電不足状態での外部への接続または火や水に近づけないで下さい。バッテリーパックを開けたり、修理しないでください。バッテリー交換の際には必ず同じ種類のバッテリーをご使用ください。古くなったバッテリーはメーカーの説明に従って処分してください。

1. ご利用前に必ずお読みください。
2. 本書を保管しておいてください。
3. 全ての警告について留意してください。
4. 本書の注意事項を厳守してください。
5. 水のそばで本機器を使用しないでください。
6. やわらかい布で本体を掃除してください。
7. 換気口を塞がないでください。メーカーの指示にしたがって設置してください。
8. 放熱体、ヒートレジスター、ストーブ、その他熱を発する機器（アンプを含む）のような熱源の近くに設置しないでください。
9. 電源コードを踏んだり、プラグ、コンセントおよび機器から出た部分が折れ曲がらないようにしてください。
10. メーカーが推奨した添付品／付属品以外を使用しないでください。
11. メーカーが推奨した荷台、台、三脚、張り出し棚、テーブル、または機器と一緒に販売されたもののみ使用してください。荷台を使用する場合、荷台に機器をのせて移動するときひっくり返って怪我をしないように注意を払ってください。
12. 雷雨時や長時間使用しない場合は、機器の電源プラグをはずしてください。

安全に関するご注意

13. 全てのサービスについてのご質問は、正規のサービス員に問い合わせてください。電源コードやプラグが破損したとき、液体がこぼれたとき、機器の上に何か物体が落ちたとき、機器が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき、機器を落としたときなどにサービスをご利用ください。
14. 直射日光の当たる場所や密閉された車中など、高温になる場所に本製品を置かないでください。高温にさらされると、ケースやその中身に悪影響を与えるだけでなく、発火を招く恐れもあります。
15. 内部が加熱され、ケースがゆがんだり、発火を招く恐れがありますので、布やキルトをかぶせたり、包んだりしないでください。本製品およびアクセサリは常に通気性のよい環境で使用してください。
16. 本製品は注意深く扱い、衝撃や振動を与えないでください。乱暴な扱いは故障の原因となります。

FCCおよび安全性に関するご注意

FCC：(Federal Communications Commision：連邦通信委員会)

警告：本体にはレーザーシステムが搭載されています。レーザー光は眼に損傷を与える可能性があるため、正規のサービス員以外の人がカバーをはずしたり、機器の修理を行なわないでください。また、本機器のサービスは、正規のサービス員のみが行なってください。本書で説明した手順以外の方法で制御、調整、操作したりすると危険な放射にさらされる可能性があります。

注意：本装置はFCC規則第15条に準拠しています。本装置の操作にあたっては、次の2つの条件を前提とします。
(1) 本装置は、有害な電波干渉の原因となってはならない。
(2) 本装置は、予想外の動作の原因となる干渉を含めたあらゆる干渉を受容しなければならない。

安全に関するご注意

注：本装置は、FCC規則第15条に基づくクラスBデジタル機器の範囲内であることが検査により証明されています。この範囲は、住宅地域への設置にあたり、有害な電波障害を防止する目的で設定されています。本装置は高周波エネルギーを生成、使用、放射するため、本書に従って設置および使用しないと、無線通信における電波障害を引き起こすおそれがあります。しかしながら、これは特定の設置方法により、電波障害が発生しないことを保証するものではありません。本装置が無線やテレビの受信障害を起こしているかどうかは、本装置の電源のオンとオフを切り替えることで判断できます。電波障害が発生する場合、次の対処方法を試してみることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 本装置とレシーバをできるだけ離れた位置に配置する。
- 本装置とレシーバの電源を、それぞれ別のコンセントに接続する。
- ディーラ、あるいは経験のある無線やテレビ技術者に問い合わせる。

本装置をFCC規則第15条のBの範囲に適合させるためには、シールドケーブルを使用する必要があります。マニュアルに特に記載のない限り、本装置の改造や修理を行わないでください。そのような改造や修理がなされた場合は、本装置のご使用を中止ください。

バッテリーに関する警告：

このDVDプレーヤーはLiポリマーバッテリーを採用しています。バッテリーの取り扱いを誤ると火災や火傷の危険があります。絶対に分解、粉砕、破裂、充電不足状態での外部への接続または火や水に近づけないで下さい。バッテリーパックを開けたり、修理しないでください。バッテリー交換の際には必ず同じ種類のバッテリーをご使用ください。古くなったバッテリーはメーカーの説明に従って処分してください。

- DVD±R、DVD±RW、CD-ROM、VIDEO CD、CD-R/RW、に対応。
- VRモードで記録されたディスクは再生できません。
- コンパクトでスリム設計。
- 最新のデジタルオーディオ／ビデオ

- Sビデオの出力（より鮮明な映像、ラージアクティブLCDスクリーン）対応。
- ペアレンタルコントロール（子供がふさわしくない内容を見ないための機能）対応。
- Kodakピクチャー CDとの互換性（テレビで写真を見ることができる機能）対応。

準備

最初にポータブルDVDプレーヤーの箱の中身をご確認ください。

ポータブルDVDプレーヤー	1
オーディオケーブル	1本
ビデオ＆同軸音声ケーブル	1本
Liポリマー・バッテリー	1
リモコン（リモコン用電池）	1
AC電源アダプター	1
12V専用カー電源アダプター	1
イヤーホーン	1
取扱説明書	1
保証書	1

万一、添付品が足りなかったり、破損していた場合は、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。

プレーヤーを移送する際に使う可能性もありますので、梱包材は保管してください。

警告：本製品の分解・改造を禁止します。分解・改造した場合、一切の保証は無効となります。

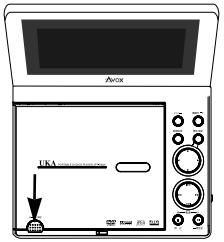
目　次

安全に関するご注意 1-6
はじめに 7-8
目次 9
クイックスタートガイド 10-11
テレビに接続するには 12-13
オプション機器へ接続するには 14-17
ディスクの再生 18-21
KODAKピクチャーCD／JPGの再生 22
他のタイトル／チャプターやトラックに移動するには 23
リピート再生 24-25
プログラム再生 26-27
ズーム 28
字幕を選ぶには 29
スクリーン表示を使うには 30
カメラアングルを選ぶには 31
ペアレンタルロックを設定するには 32-33
充電式バッテリーの取り付け方と使い方 34-35
初期設定 36-37
故障かなと思ったら 38-40
仕様一覧 41

クイックスタートガイド

1. 外部電源に接続する
電源アダプター（プレーヤーと同梱のもの）を側面の入力端子差込口とコンセントに接続してください。

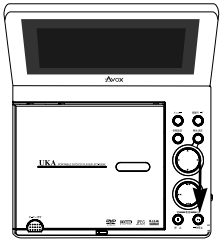
2. 保護カバーを開ける
カバーは最大135°までしか開かないのでそれ以上は開けないでください。



3. 左側のオープン／押すボタンを押して、ディスクカバーを開ける

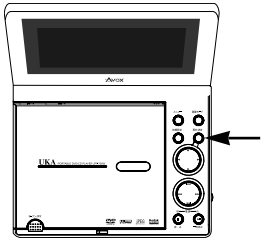
4. DVDディスクを入れる
ディスクガイドの中心にDVDディスクの中心が合うように位置を調整してください。“カチッ”という音がするまでDVDを軽く押してください。そして、ディスクカバーを閉じてください。

5. 右下の「電源入／一時停止」ボタンを電源が入るまで押す



クイックスタートガイド

6. プレーヤーの表面にある再生／決定ボタンを押す
通常､DVDが挿入してある場合､電源がオンになると自動的にスタートします。



DVDプレーヤーはすぐにDVDのプログラムを読み込み始めます。
停止したい時は、電源切／停止ボタンを押すと電源オンのロゴ画面に戻ります。電源を切りたい時は、電源切／停止ボタンを電源が切れるまで長押してください。

⚠

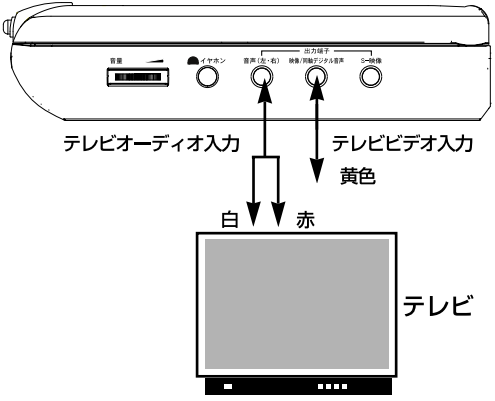
・DVDプレーヤーはスクリーンセーバーモードになってから三分後に自動的に電源が切れます。リセットするためには電源切／停止ボタンを一度長押ししてから、電源入／一時停止ボタンを電源が入るまで押してください。

テレビに接続するには

コンポーネント端子の接続方法

ステップ1：オーディオケーブル（赤、白）をDVDプレーヤーの音声出力に接続する。
ステップ2：映像ケーブル（黄色）をプレーヤーの側面にある映像／同軸デジタル音声端子に接続する。（S-Video入力対応のテレビの場合は以下の「S-Videoの接続方法」の図に従ってください。）

通常の接続

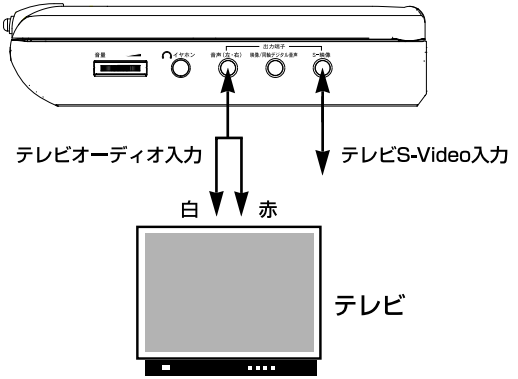


⚠

・PAL方式テレビの場合のプレーヤーの接続
PALシステムのテレビを接続して再生するためには、そのテレビを接続後、最初にリモコンの映像信号ボタンを押してプレーヤーをPALに設定しなければなりません。接続するとプレーヤーのLCD画面は真っ黒になりますが、これは故障ではありません。再生のためにプレーヤーの画面を使用したいときは映像信号ボタンを再度押してPALをNTSCに設定するか、またはリセットしてプレーヤーをデフォルト設定であるNTSCにします。

テレビに接続するには

S-Videoの接続方法



テレビにS-Video入力がある場合は、DVDビデオプレーヤーとオプションのS-Videoケーブルで接続してください。S-Videoケーブルを使う場合、黄色いビデオケーブルを接続しないでください。

⚠

・接続をする前に電源を切ってコードはコンセントと差込口から抜いてください。

・S-Videoケーブルは別売となります。

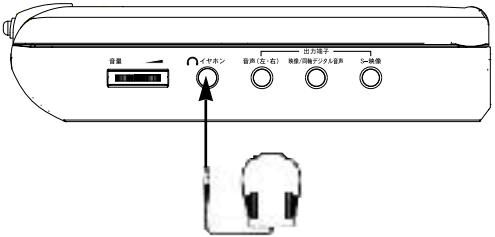
・S-ビデオケーブルでテレビに接続すると、映像が白黒にとなりますが、これは工場出荷時の初期設定がプログレッシブに設定されているためで、故障ではありません。初期設定メニューからSビデオに設定変更を行ってください。(初期設定ボタンを押し、「ビデオ設定」の「コンポーネント」をオフにしてください。) また、Sビデオの設定変更は、DVDプレーヤーの電源を切っても保存されます。

オプション機器へ接続するには

ヘッドフォンの接続

1.ヘッドフォンを接続する
3.5mmステレオプラグヘッドフォンが使えます。

2.ダイアルをまわして音量を調整する



⚠

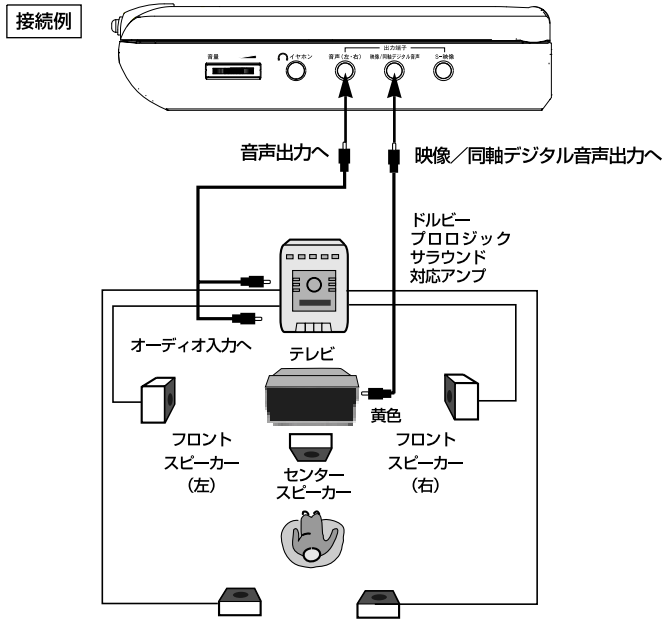
・最大音量は耳に悪い影響を及ぼす可能性があります。

オプション機器へ接続するには

ドルビープロロジックサラウンドサウンドを楽しむ

ドルビープロロジックサラウンド

アンプとスピーカーシステム（左右のフロントスピーカー、センタースピーカー、リアスピーカー）を接続してダイナミックで臨場感のあるドルビープロロジックサラウンドを楽しめます。



オプション機器を接続するには

本製品の技術著作権はマクロビジョンコーポレーションと他の権利保有者によって保有され、米国の特許資格と知的所有権により保護されています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションによる認可が必要です。そして、その使用はマクロビジョンコーポレーションの認可がある場合を除いて、家庭やそれ以外での限られた鑑賞にのみ認められています。改造や分解は禁じられています。

許可なく本書を複製したり、放送したり、公の場で上映したり、著作権のあるマニュアルを借りたりすることは法律で禁じられています。
DVDビデオディスクは複製保護されており、複製されると映像や音声が乱れます。

ドルビーラボラトリーの承認の元に製造されており、「Dolby」とダブルDシンボルはドルビーラボラトリーの商標です。
©1992-1997 Dolby Laboratories, Inc. AIL rights reserved.

⚠

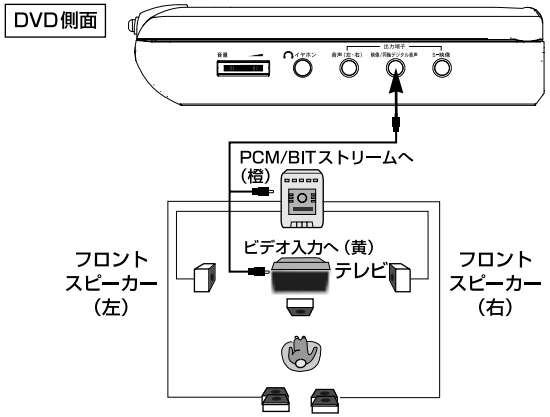
- スピーカーの損傷を防ぐためにレシーバーは適度な音量にしてください。
- DVDプレーヤーを接続するとき、または接続をやめるときはスピーカーの損傷を防ぐためにアンプの電源を切ってください。

オプション機器を接続するには

ドルビーデジタルを楽しむ

ドルビーデジタル

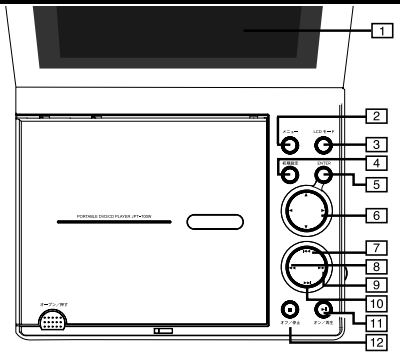
ドルビーデジタルプログラムは５つの全音域チャンネルと１つの低音用サブスピーカーを使ってサラウンドサウンドを提供します。ドルビーデジタルシステムでDVDを楽しめます。必要な準備はDVDプレーヤーとドルビーデジタルまたは外部デコーダー付ドルビーデジタルレディーレシーバーを接続するだけです。



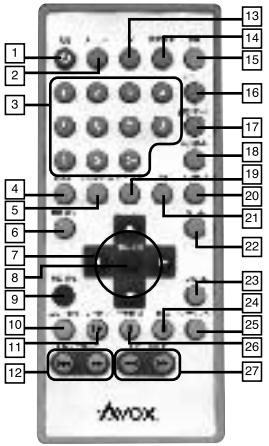
設定メニューから「初期設定」のなかの「ＳＰＤＩＦ出力」を「ＳＰＤＩＦ/ＰＣＭ」に設定してください。

ディスクの再生

再生のための基本操作



1. LCDモニター
2. メニュー
3. 画面モード
4. 初期設定
5. 再生／決定
6. 方向キー
7. スキップサーチ：前へ
8. スピード再生：巻戻し
9. スピード再生：早送り
10. スキップサーチ：次へ
11. 電源入／一時停止
12. 電源切／停止



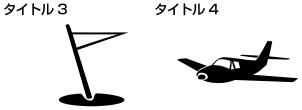
1. 電源
2. メニュー
3. ナンバー
4. 頭出し
5. プログラム
6. 音声選択
7. 方向キー（上/下/右/左）
8. 再生／決定
9. 初期設定
10. スロー再生
11. コマ送り
12. スキップサーチ
13. PBC
14. 画面表示
15. 消音
16. リピート
17. 指定リピート
18. 映像信号
19. タイトル
20. アングル
21. 字幕
22. ズーム
23. リジューム
24. 停止
25. シャッフル
26. 一時停止
27. スピード再生

ディスクの再生

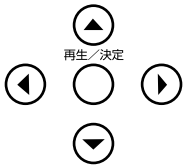
メニュー画面から再生するには

1. タイトル／メニューを押してメニュー画面を表示する

2. ∧／∨／＜／＞ または番号ボタンを押してタイトルを選択する



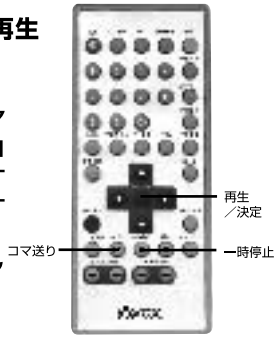
3. 再生／決定ボタンを押す
DVDビデオプレーヤーは選択されたタイトルから再生をはじめます。



注：選択したタイトル番号を直接指定して入力することもできます。

一時停止とコマ送り

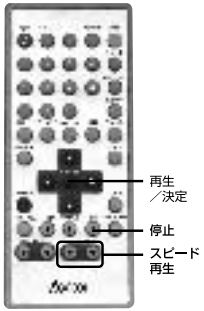
再生中に一時停止を１度押す
再生／決定ボタンを押すとノーマル再生に戻る
静止再生中は消音になります。
再生中にコマ送りボタンを押すとコマ送りで再生できるようになります。コマ送り再生中はコマ送りボタンを押すたびに、１フレーム進みます。解除するには再生／決定ボタンを押します。
MP3CD、オーディオCD、ピクチャーCDにはステップ機能はありません。



ディスクの再生

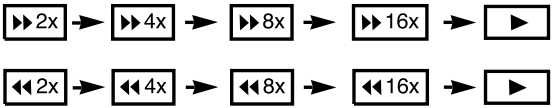
再生を停止するには

停止ボタンを押す
プレーヤーは停止します。



早送りと巻き戻し

ディスク再生ではノーマル再生の２倍速、４倍速、８倍速、16倍速の早送りと巻き戻しができます。



再生中にスピード再生ボタンを押す
再生スピードはノーマル再生の２倍の速さになります。スピード再生ボタンを押すごとに再生スピードは変わります。

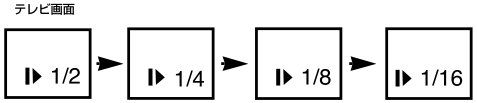
ノーマル再生に戻るときは再生／決定ボタンを押してください。

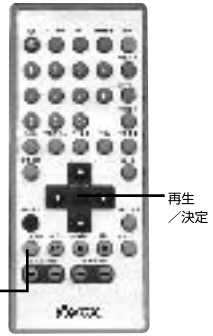
注：この機能が使えないDVDディスクもあります。

ディスクの再生

スロー再生

ディスクをスロー再生できます。





再生中にスロー再生ボタンを押す
再生スピードはスロー再生ボタンを押すごとに、
ノーマルスピードの1/2、1/4、1/8、1/16と変わります。

ノーマル再生に戻るときは再生／決定ボタンを押してください。

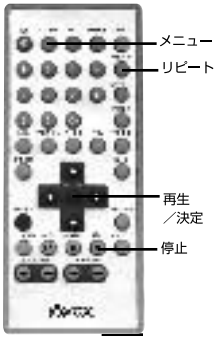
⚠

・巻き戻し、早送り、スロー再生ボタンで再生中は、消音になります。
・この機能が使えないDVDディスクもあります。

KODAKピクチャーCD/JPEGの再生

1. KODAKピクチャーCDまたはJPEGディスクを読み込む
KODAKピクチャーCDが読み込まれると自動的に再生を開始します。

2. JPEGまたは他のデータ・ディスクにあるフォルダまたは写真／曲を選択すると、メニューが画面に表示される　▲または▼ボタンを押してフォルダを選択し、再生／決定ボタンを押してフォルダのコンテンツを表示します。



3. 再生モードを選択する
リピートボタンを押して再生モードを選択できます。そのボタンを押すたびにリピート1と全てリピートモードが切り替わります。
▲または▼ボタンを押して、ご希望の写真または曲を選択します。

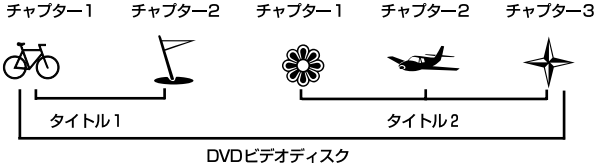
4. 再生を開始する
再生／決定を押して、写真または曲を再生します。

5. 停止またはメニューボタンを押して、コンテンツを表示できる
JPEG CDが再生されているとき、停止またはメニューボタンを押すとJPEGフォルダおよび関連ファイルを表示できます。

ご自分の写真CDを作成する場合
パソコンにJPEG形式で写真を保存し、CD-Rディスクにそれらの写真を焼きつけます。そのCD-Rディスクに保存した写真をテレビでご覧になれます。

他のタイトル、チャプター、トラックに移動するには

DVDディスクは通常、タイトルとさらに再分されたチャプターにに分かれています。CDはトラックに分かれます。

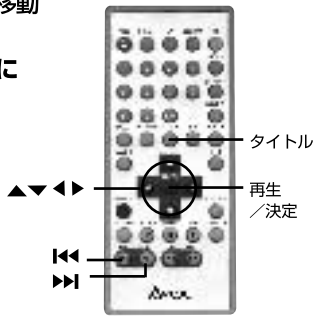


タイトルメニューを使ってタイトルに移動する

DVDビデオディスクにタイトルメニューがある場合、タイトルメニュー機能を使って好きなタイトルに移動できます。

1.タイトルボタンを押すとモニターにタイトルメニューが表示される

2.▲▼◀▶ボタンを使って好きなタイトルを選択する
数字のボタンを使って直接好きなタイトルに移動することもできます。



3.再生ボタンを押す
選択されたタイトルのチャプター1から再生されます。

スキップボタンを使って好きなタイトルやトラックを選ぶこともできます：
見たいタイトルが表示されるまで ⏮ または ⏭ ボタンを繰り返し押します。

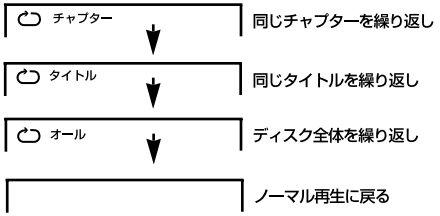
リピート再生

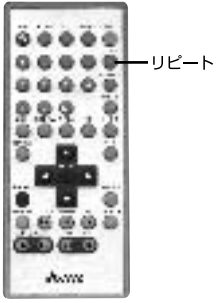
本DVDビデオプレーヤーは指定したタイトル、チャプター、トラックや範囲を繰り返し再生できます。(タイトルリピート、チャプター／トラックリピート、指定リピート)

タイトル、チャプターまたはディスクを繰り返し再生するには

ノーマル再生中にリピートボタンを押す

リピートボタンを押すたびにリピートモードが変わります。





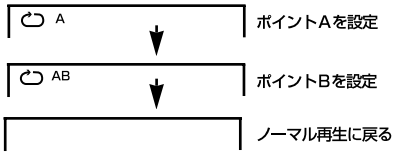
リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生するには

1.繰り返し再生したい範囲の開始位置で指定リピートボタンを押す
（区間繰り返し設定ポイントA）

2.指定したい範囲の終了位置で指定リピートボタンを押す
（区間繰り返し設定ポイントB）
自動的にポイントAに戻って指定された範囲（A-B）を繰り返し再生します。

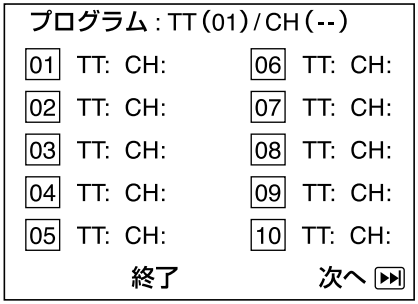
3.もう一度指定リピートボタンを押すとA-B区間繰り返し再生が解除される
ノーマル再生に戻ります。



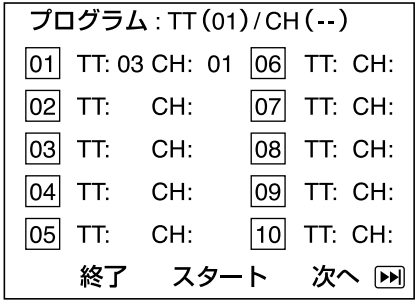
プログラム再生

タイトル、チャプター、トラックを好きな順番で設定するには

1.プログラムボタンを押すと、スクリーンにプログラムメニューが表示される
プログラム：
タイトル／チャプター



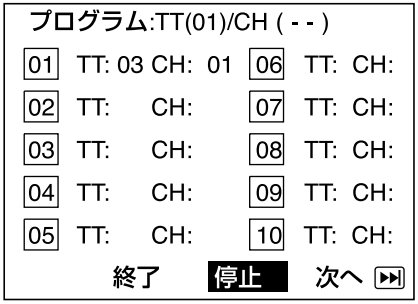
2.数字ボタンを使って、タイトルやチャプターを選び、好きな順番にプログラムする
選択されたタイトルやチャプターはプログラム設定として入力されます。



プログラム再生

3. スタートを選択後、決定ボタンを押すとプログラム再生がはじまる

4. プログラムボタンを押して、決定ボタンを二回押すとプログラム再生が解除されます

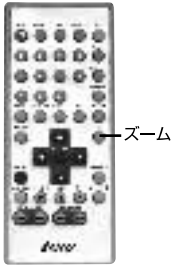


ズーム

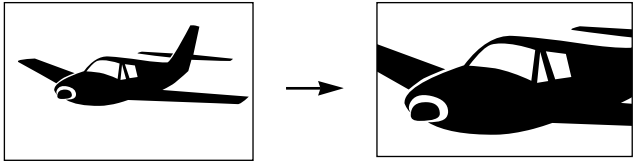
ズーム

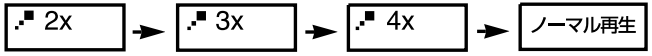
ズーム機能では写真を拡大・縮小したり、ズームしたい位置を移動することができます。

ノーマル再生中またはスロー再生中にズームを押す



写真の中央が拡大化されます。ズーム再生中に ▲▼◀▶ ボタンを押すと、ズームしたい位置を移動できます。





字幕を選ぶには

字幕を表示するには

DVDビデオディスクに字幕が含まれる場合は、好きな字幕を選ぶことができます

再生中に字幕ボタンを押す

字幕 1 ⬇ 01/03

字幕 2 ⬇ 02/03

字幕 3 ⬇ 03/03

字幕 オフ

字幕を消すには

再生中に字幕オフの表示がでるまで字幕ボタンを押す

字幕 オフ ⬇

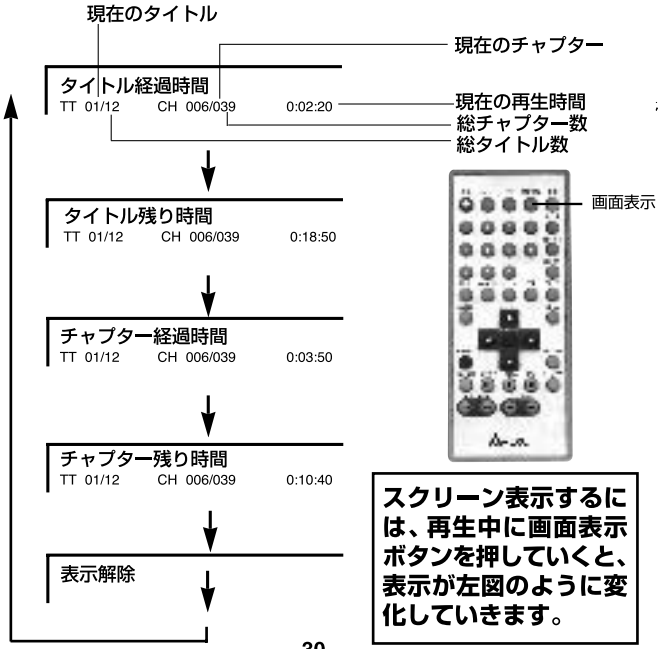
スクリーン表示を使うには

操作状態やディスク情報をテレビのスクリーンに表示することができます

操作状態を確認するには

テレビで以下の項目を表示できる機能です。

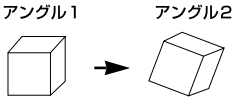
-現在のタイトル
-トラック番号
-全体の再生時間



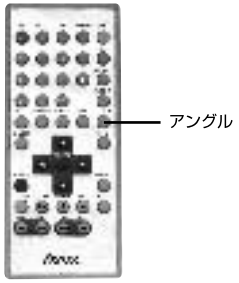
スクリーン表示するには、再生中に画面表示ボタンを押していくと、表示が左図のように変化していきます。

カメラアングルを選ぶには

このDVDプレーヤーではいろいろな角度からの再生を選ぶことができます。



カメラアングルを選ぶ

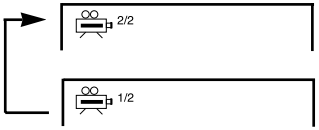


カメラアングルを変更するには

DVDビデオディスクにマルチアングル機能がついている場合、見ている場面のカメラアングルを変更することができます。

マルチアングル機能がある場面の再生中にアングルボタンを押す

アングルボタンを押すだけでアングルアイコンがDVDの画面に点滅します。
したいアングルに一致する番号を押します。



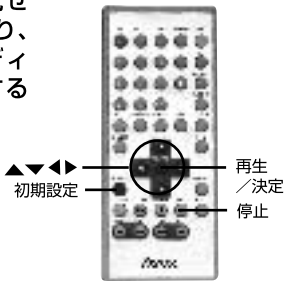
⚠ マルチアングル機能がないDVDビデオディスクではこの機能は使えません。

ペアレンタルロックの設定

ペアレンタルロック機能がついているDVDビデオディスクでのみ使用できる機能です。

ペアレンタルロックを設定するには

ペアレンタルロック機能がついているDVDビデオディスクはその内容に応じて年齢視聴の制限がされています。ペアレンタルロックによる制限とDVDビデオディスクで制限する方法で、内容はディスクによってさまざまに編集できます。例えば、ディスクが対応していれば、お子様に見せたくない暴力場面を編集で消去したり、より適した場面に差し替えたり、ディスクが再生される間ずっとロックすることができます。



1. DISKが入っていない事を確認し、電源を入れる

2. 初期設定ボタンを押す
スクリーンに設定メニューが表示されます。

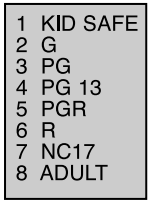
3 選択ページを選択し、再生／決定ボタンを押す
33ページへ→

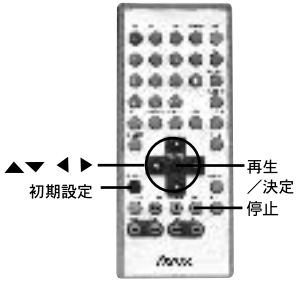
※プレーヤー内にDISCが入っている場合、選択画面を表示できません。
DISKを抜いてから設定してください。

ペアレンタルロックの設定

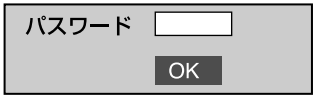
4. ペアレンタルを選択して、再生／決定ボタンを押す

5. 視聴制限を選択して、再生／決定ボタンを押す





6. パスワードを入力してから再生／決定ボタンを押す
最初に設定されているパスワードは 3308 です



7. 初期設定ボタンを押すと設定が完了し、再生／決定ボタンを押すとスタートする

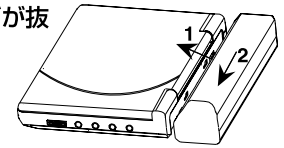
パスワードの変更

1. パスワード変更するには以下の四つのステップに従います。
2. 旧パスワードを入力。
3. 新パスワードを入力。
4. 確認のために新パスワード再入力。
5. 再生／決定ボタンを押す。
6. 初期設定ボタンを押して完了。

充電式バッテリーの取り付け方と使い方

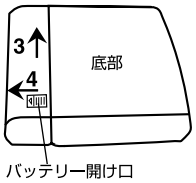
バッテリーパックの取り付けと取り外し

1. 本体の電源が切れているか、プラグが抜かれているか確認する。
2. バッテリーパックを矢印１の方向に動かし本体の側面に取り付けます。カチッという音がするまでバッテリーを矢印２の方向に動かし本体に装着してください。



バッテリーパックの取り外し

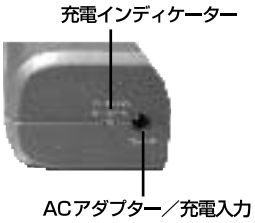
1. 本体の電源が切れているか、プラグが抜かれているか確認する
2. バッテリーパックを矢印3の方向に引き出しながら、ラッチを４(本体の底) の方向にスライドさせてください。



ご使用とメンテナンス

付属のバッテリー（Liポリマー）は高品質高容量で、一度充電されたバッテリーを再度、使い切らずに充電が可能です。

- **バッテリーにACアダプターを接続する。**
- **バッテリーの性能を最大限引き出す為に、使い始め２～３回はフル充電、フル放電してください。**
- **待機中にもバッテリーを消耗しますので、使用しない場合は、バッテリーを本体から取り外してください。**



充電式バッテリーの取り付け方と使い方

付属のバッテリーの性能

再生時間：約2時間ー2時間30分
充電時間：約3時間30分ー4時間
繰り返し充電：約300回

※但し、使用環境によって再生時間及び充電時間が異なることがあります。

※消費電力はスクリーンの明るさや音量などの操作によって異なります。

すでにフル充電されたバッテリーを再度充電しないでください。金属製の入れ物に保管したり、湿度の高い場所に置き去りにしたりしないでください。保管の際には、可能であれば密閉できる入れ物に保管してください。気温が10℃以下もしくは30℃以上になるとバッテリーの性能が低下します。

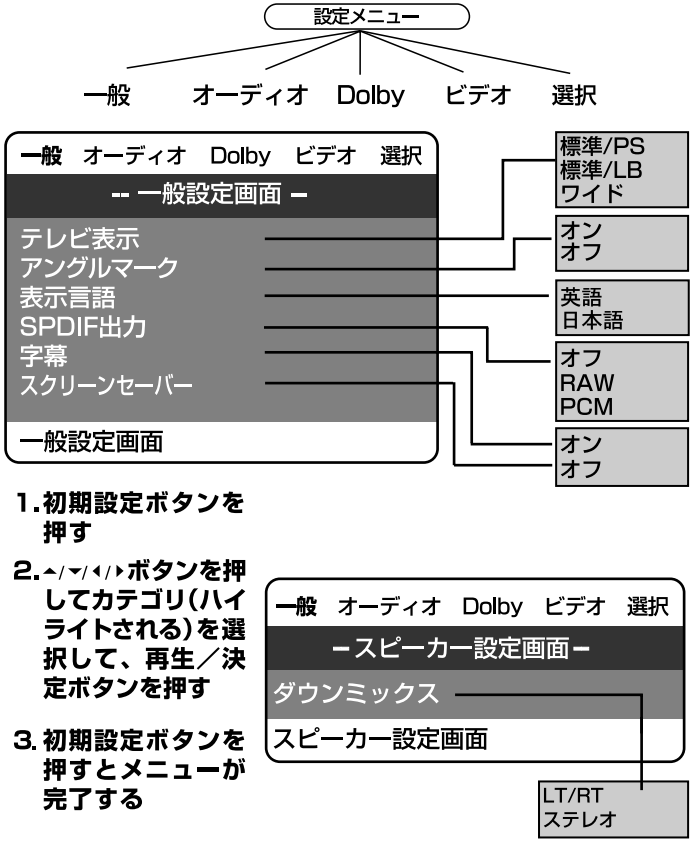
⚠

・バッテリーを出し入れする際は、しっかりとセットしてください。

バッテリーの性能を最大限引き出す為に、使い始め2～3回はフル充電、フル放電してください。

初期設定

本品はお客様の好みで機能をカスタマイズできます。

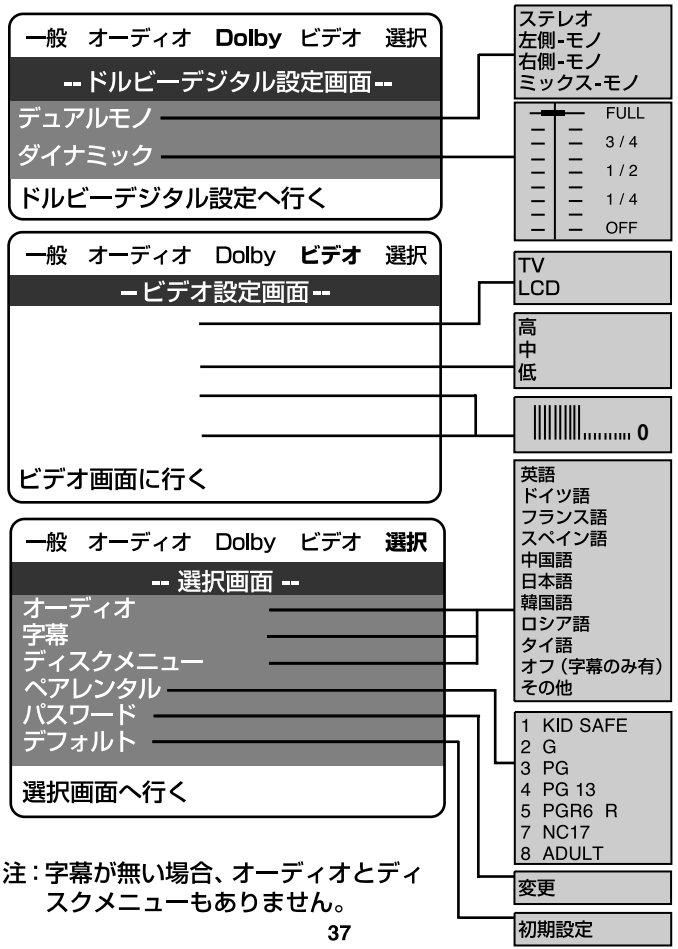


1.初期設定ボタンを押す

2.▲/▼/◀/▶ボタンを押してカテゴリ(ハイライトされる)を選択して、再生／決定ボタンを押す

3.初期設定ボタンを押すとメニューが完了する

初期設定



注：字幕が無い場合、オーディオとディスクメニューもありません。

故障かなと思ったら

トラブル（一般）	対策
電源が入らない。	・電源プラグを電源コンセントにしっかり差し込んでください。 ・プレーヤーの本体の電源がONになっているかどうかチェックしてください。 ・ACコンセントにテスト用器具を接続して電源がきているかどうかチェックしてください。 ・バッテリーを充電してください。
プレーヤーの再生ボタンを押しても再生しない。	・結露が発生しています。プレーヤーが乾くまで1時間から2時間ぐらい待ってください。 ・本プレーヤーは、DVDまたはオーディオCD以外は再生しません。 ・異なったディスクを使用したため、不具合が発生していないかチェックしてください。 ・地域（リージョン）コードをチェックしてください。 ・ディスクが逆さまになってトレイに入っている可能性があります。
再生を始めるが、すぐに停止する。	・ディスクが汚れている可能性があります。ディスクをきれいに掃除してください。 ・ディスクがラベル面を上にして挿入されているかどうか確認してください。
画像が表示されません。	・機器が正しく接続されているかどうか確認してください。 ・テレビの入力設定が“ビデオ” になっているかどうか確認してください。 ・外部機器の電源がONになっているかどうかチェックしてください。 ・テレビの入力切替を正しく選択してください。 ・LCDの電源がONになっているかどうかチェックしてください。
音声が出ない。	・機器が正しく接続されているかどうか、およびオーディオジャックにしっかり接続されているかどうか確認してください。 ・HiFiアンプを使用している場合は、違うサウンドソースを使用してみてください。 ・オーディオ出力設定メニューをチェックして、アナログ出力が選択されているかどうか確認してください。 ・ボリュームを調整してみてください。
サウンドが歪む。	・テレビおよびステレオシステムの入力設定が適切であるかどうか確認してください。 ・静止画（一時停止）中、音声は出力されません。

故障かなと思ったら

トラブル（一般）	対策
デジタル出力で音声が出ない。	・デジタル系統の接続をチェックしてください。 ・選択したオーディオフォーマットが受信機の機能に適合しているかどうかチェックしてください。
画像が歪む。	・ディスクに指紋がついていないかチェックし、柔らかい布を使用してディスクの中央から外側に向けて拭いてきれいにしてください。 ・時々少量の画像歪みが現れることがあります。これは故障ではありません。
早送りまたは巻き戻し中に画像が歪む。	・早送りや巻き戻しをすると通常画像が歪みます。
早送り（巻き戻し）再生ができない。	・一部のディスクには、早送り（巻き戻し）を禁止する部分を持つものがあります。
字幕がでない。	・字幕を持つディスクのみ字幕が表示されます。 ・字幕が非表示になっています。 （説明は29ページにあります）
リモコンで操作ができない。	・バッテリーが正しい極性（＋）と（－）で入っているかどうかチェックしてください。 ・バッテリーが劣化しています。新しいバッテリーに交換してください。 ・リモコンをリモコン信号センサー向けて操作してください。 ・リモコン信号センサーから3メートル以内の距離でリモコンを操作してください。 ・リモコンとリモコン信号センサーの間にあるじゃまな物体を除去してください。
キー操作（DVDプレーヤーの電源およびリモコン）ができない。	・本体の電源をOFFにしてからONに切り替えてみてください。あるいは本体の電源をOFFにして、AC電源Cコードをはずして再度接続してみてください。（プレーヤーは落雷、静電気またはそれ以外の外的要因で適切に動作しなくなる場合があります）
タイトルを選択して再生を押しても再生が実行されない。	・これはペアレンタルロックが設定され、ペアレンタルロック機能が働いているからです。初期設定メニューでペアレンタル設定を確認してください。
オーディオサウンドトラックおよび字幕言語が初期設定で選択された言語でない。	・ディスクにオーディオサウンドトラックおよび字幕言語が存在しないと、初期設定で選択した言語は視聴できません。

故障かなと思ったら

トラブル（一般）	対策
代替オーディオサウンドトラック（またはサブタイトル）言語が選択できない。	・使用できる言語がその言語以外存在しないと代替言語を選択できません。
アングル表示ができない。	・この機能は、ソフトウェアによります。多数のアングルが保存されていても、すべてのアングルが有効にならず、特定のシーンのみ有効になる場合があります。
ペアレンタルロックのパスワードを忘れた。	・最優先パスワードの3308を入力してください。
バッテリーを電源に接続しても、バッテリー充電インジケータがONにならない。	・バッテリーパックを電源からはずして30秒間そのままにします。再度、バッテリーパックを電源に接続してください。

仕様一覧

映像信号	NTSC/PAL
再生可能DISK	DVD/DVD±R/DVD±RW/（ビデオモード） CD/CD－R/CD－RW（ビデオモード）
寸法	204×155×40mm（横幅×奥行き×高さ）
重量	約1.14Kg（バッテリー含む）
画面	7型TFT液晶 16:9
解像度	34万画素（480X234X3（RGB））
ビデオ端子（OUT）	コンポーネント、S-Video
音声端子（OUT）	アナログステレオ　イヤーホーン端子
デジタル音声端子	同軸デジタル
D/Aコンバーター	オーディオ24Bit/96KHｚ、ビデオ10Bit
電源	100～240　9V－12V
動作環境	温度：0℃～40℃　湿度：25%～80% 動作姿勢：水平